

## カーブミラー要否判定の指針（令和6年4月改正）

### 1 趣旨

この指針は、市民からのカーブミラー設置要望に対し、市担当者がその必要性について同一の基準で公正かつ適切に判断するための目安として定めたものである。

### 2 配慮事項

- (1) 道路脇の植物や冬季間の雪壁による視界不良を理由とする設置要望については、植栽管理や除雪作業、道路改良等による対応を含め、設置の要否について総合的に検討する。
- (2) いわゆる「赤道」や私道であっても、通り抜けができる場所、または袋小路でもその道路の利用戸数が3戸以上もしくは公共施設がある場所については検討対象とする。
- (3) 見通しの悪いカーブのうち、センターラインで走行車線が区分されている場所については、車線に沿って進行すれば衝突のおそれが少ないため、検討対象としない。

### 3 交差点における要否判定の手順

次の二段階の安全確認を行い、左右の見通しを確認する。

確認位置		確認結果	ミラー設置の必要性	判断例
1	停止線 (交差点手前)	安全確認できる	必要性なし	判断例1
		安全確認できない	(交差点直近まで前進し判断)	—
2	交差点直近 (車線)	安全確認できる	必要性低い	判断例2
		安全確認できない	必要性高い	判断例3

◎左右の見通しの確認位置は、停止線・交差点直近から2.2m下がった位置\*とする。

※「2.2m下がった位置」の考え方

ボンネットが長い車種（SUV・セダン）では、車両の先端からハンドル位置までが長いもので2.2m程度ある。

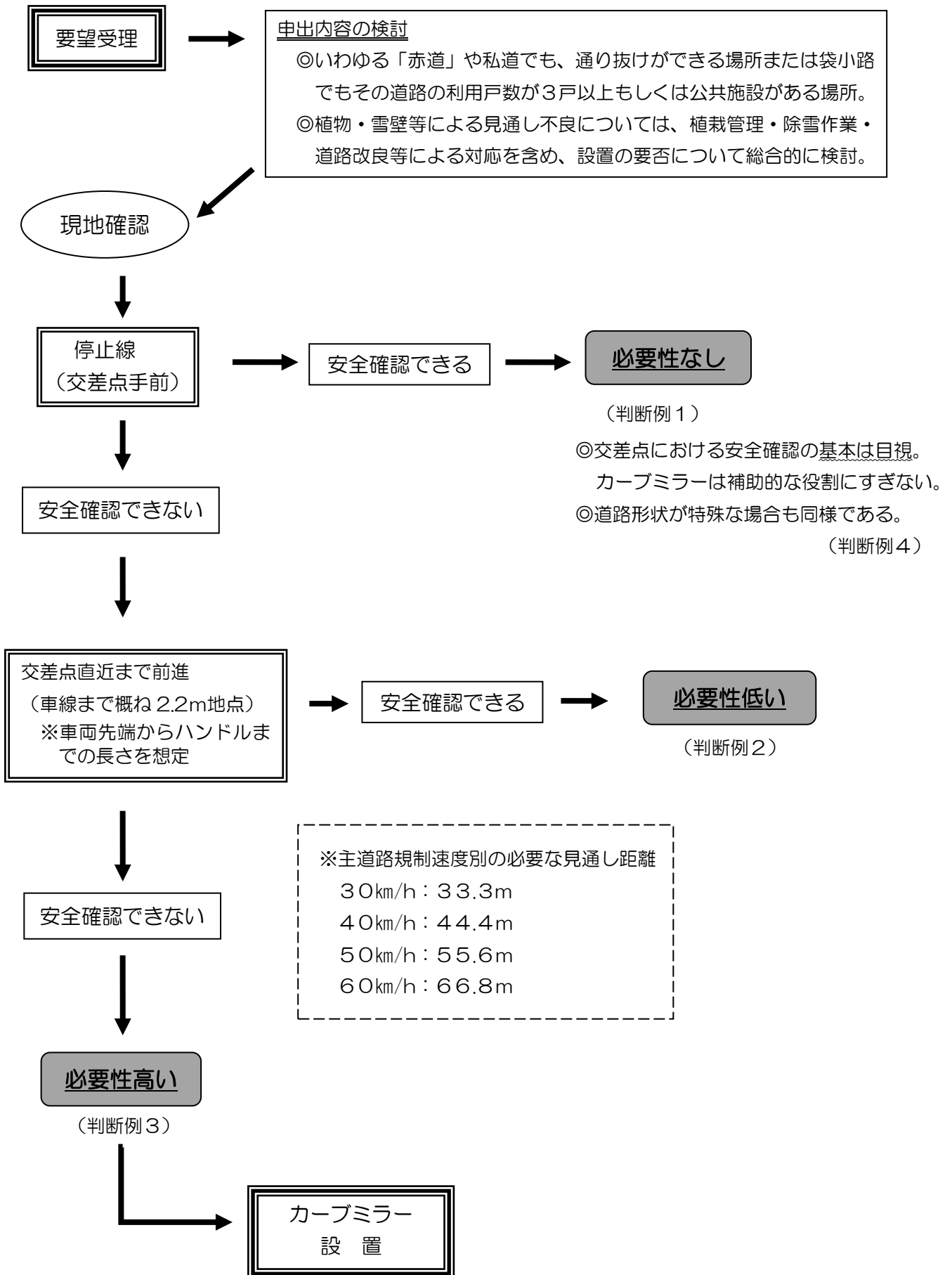
◎安全確認ができるかどうかは、確認位置から見通せる距離が、交差点主道路の規制速度\*から求められる必要な見通し距離を満たすかどうかで判断する。

※実際に走行している車両の速度ではなく、規制速度で判断する。また、速度規制がない道路の場合は60 km/h（中央線がない道路は50 km/h）とし、周辺的环境も考慮して判断する。

速度 (km/h)	見通し距離 (m)	備考
30	33.3	◆必要な見通し距離の求め方 秒速 (時速 ÷ 60 ÷ 60) × 4 秒 (4秒は右左折の所要時間)
40	44.4	
50	55.6	
60	66.8	

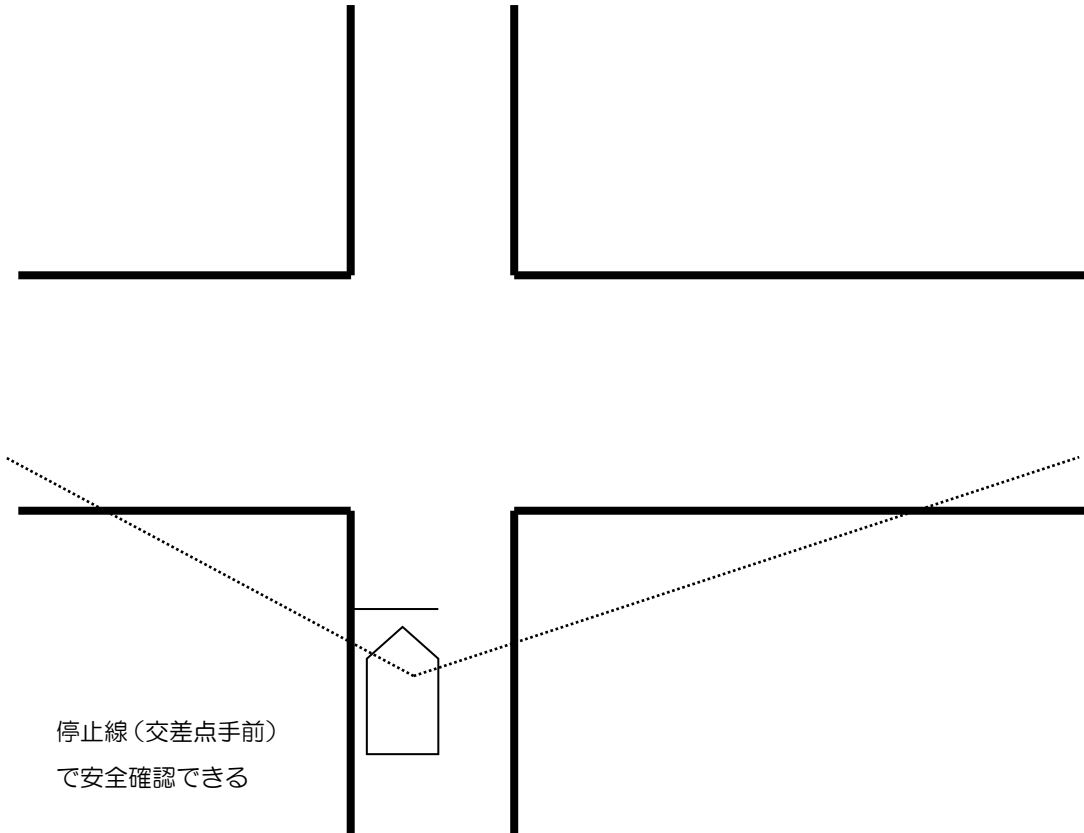
◎安全確認する際の見線の高さは、地上から1m~1.5mの位置（運転席の高さを想定）を目安とする。

【要望受理から設置までのフローチャート】



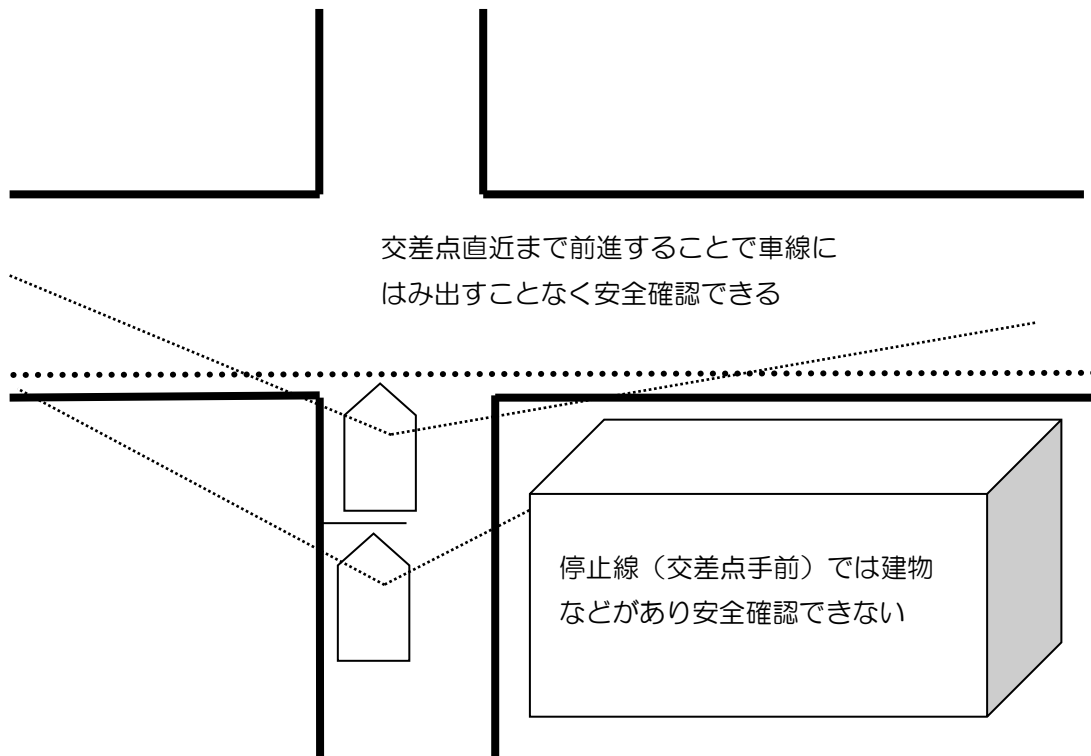
【判断例1の図解】

建物などがいないため交差点の見通しがよく、カーブミラーの必要性がない場合



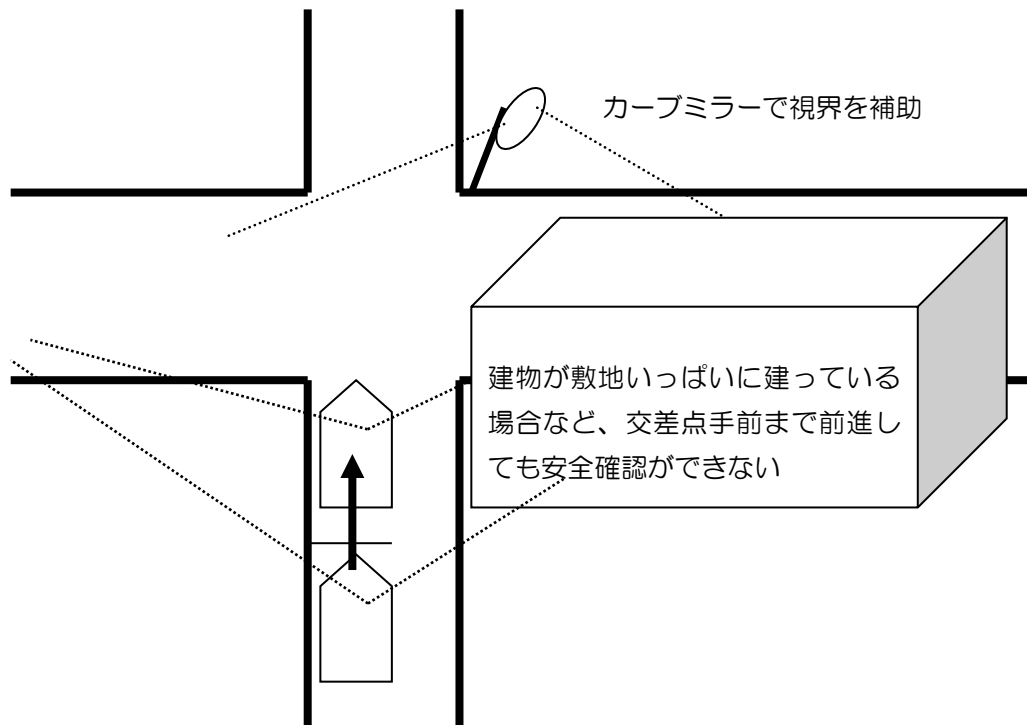
【判断例2の図解】

停止線（交差点手前）では安全確認できないが、交差点直近まで前進すれば安全確認できるためカーブミラーの必要性が低い場合



【判断例3の図解】

交差点直近でも安全確認ができないためカーブミラーの必要性が高い場合



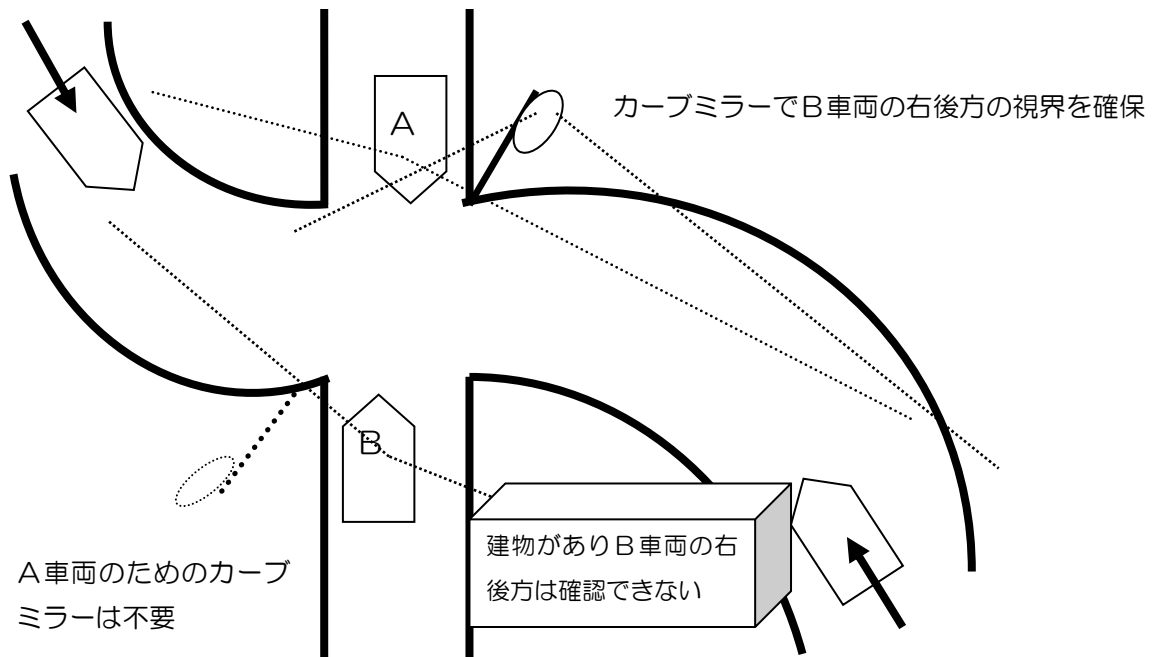
【判断例4の図解】

交差する道路がカーブ等の場合も、あくまで見通しの良し悪しによって判断する。

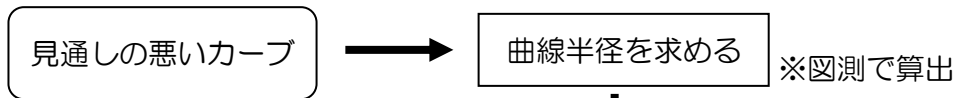
A車両…右側の道路がカーブしているが、建物などはなく見通しがよいので必要性なし

B車両…右側の道路がカーブしているうえ、建物があり見通しが悪いので必要性が高い

カーブではあるが、A車両の右後方の確認はできる



#### 4 見通しの悪いカーブにおける要否判定の手順



**曲線半径から現場の設計速度を求める (表1)**

勾配なし		勾配あり	
曲線半径 (m)	設計速度 (km/h)	曲線半径 (m)	設計速度 (km/h)
130~	50	100~	50
85~130	40	60~100	40
50~85	30	30~60	30
20~50	20	15~30	20

**設計速度から必要な視距を求める (表2)**

設計速度 (km/h)	必要な視距 (m)
30	60
20	36

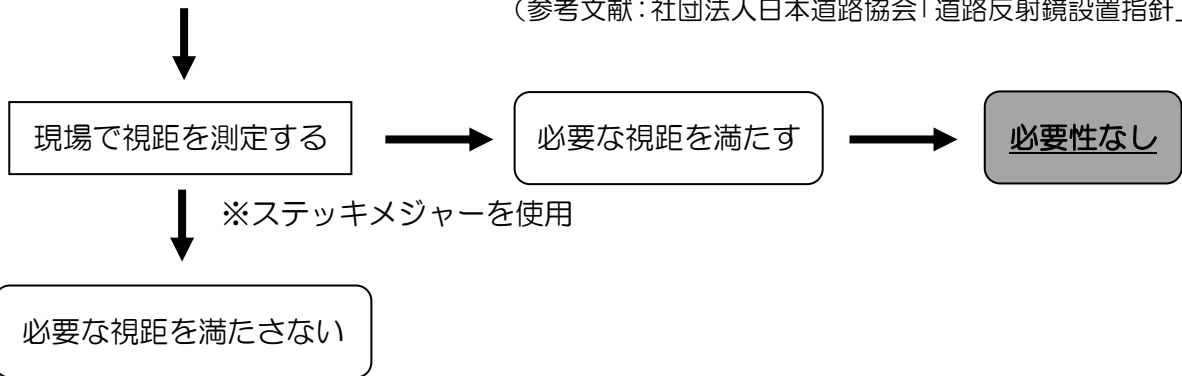
**必要な視距について**

- ◎カーブ地点で対向車が相互に相手を確認、ブレーキをかけた際に衝突せずに停止できる距離が必要となる。
- ◎対向車が衝突しない最低限の距離 = 下記参考の距離 × 2
- ◎雨天・凍結時は停止距離が伸びるため、さらに × 2

※設計速度に30km/hを超える規定がないのは次の理由による。

- ◎カーブミラー越しでは30km/h を超える場合に必要な視距を確認できないこと。
- ◎カーブミラーが必要な場所では30km/h を超えて走行できないこと。

(参考文献: 社団法人日本道路協会「道路反射鏡設置指針」)



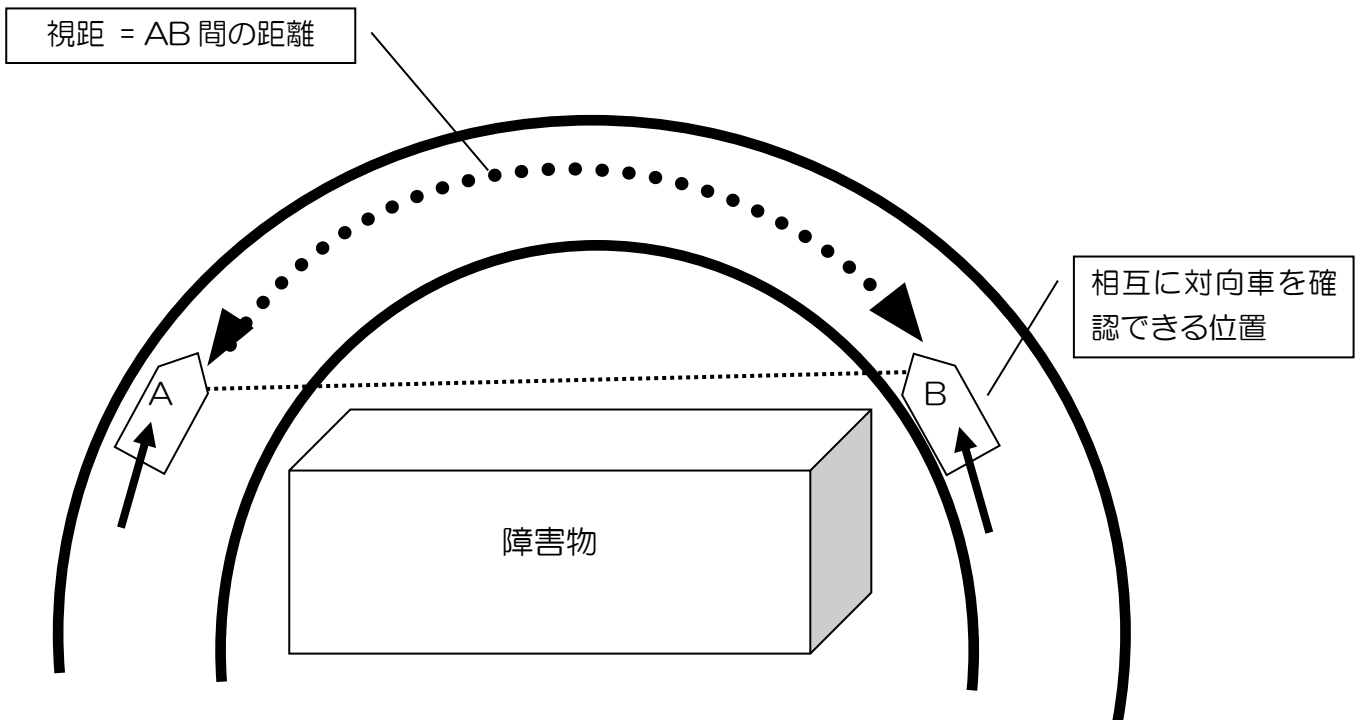
**【参考】**

対向車を確認ブレーキ操作をしてから停止するまでの距離

60km/h	44m	30km/h	15m
50km/h	32m	20km/h	9m
40km/h	22m		(乾燥路面/普通乗用車)

【単路における判断例の図解】

1. 曲線半径を求める（図測）
2. 曲線半径から設計速度を求める（表1）
3. 設計速度から必要な視距を求める（表2）
4. 現場の視距を測定する（実測）
5. 必要な視距を満たすか否か判断する



（表1）

曲線半径から現場の設計速度を求める			
勾配なし		勾配あり	
曲線半径 (m)	設計速度 (km/h)	曲線半径 (m)	設計速度 (km/h)
130～	50	100～	50
85～130	40	60～100	40
50～85	30	30～60	30
20～50	20	15～30	20

（表2）

設計速度から必要な視距を求める	
設計速度 (km/h)	必要な視距 (m)
30	60
20	36

## 5 カーブミラーの大きさ

設置するカーブミラーの大きさは、必要な見通し距離を目安に、交差点の形状を考慮して、必要最小限のものを選定します。

必要な視距 (m)	カーブミラーの大きさ (直径) (mm)
~40	600
40~50	800
50~	1000